



(大阪西北部・大阪東北部)

5 調査担当者 小倉徹也
 6 発掘機関 (財)大阪市文化財協会
 7 遺跡の種類 藏屋敷跡
 8 調査期間 一九九九年(平11)一一月~二〇〇〇年一月
 9 遺跡の年代 江戸時代
 10 遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査地は堂島川と土佐堀川に挟まれた中之島に位置する。江戸時代以降、周辺には諸藩の大坂藏屋敷が建ち並んでいたことが知られている。調査地は鳥取藩の藏屋敷跡にあたり、西隣には広島藩、東隣には福岡藩が藏屋敷を置いていた。

11 一八世紀のものとされる
 詳細な絵図「大坂御屋敷
 図」(鳥取県立博物館保管)

12 によれば、屋敷地の北側には
 は船入、西辺と南辺には長

なかのしま

大阪・中之島二丁目所在遺跡(鳥取藩藏屋敷跡)

所在地 大阪市北区中之島二丁目

調査期間 一九九九年(平11)一一月~二〇〇〇年一月

発掘機関 (財)大阪市文化財協会

(1) 「□□□一 村甚□」

185×28×7 011

屋のようにつながる借家(町屋)が描かれている。木簡は、西辺の借家側敷地の井戸SE-1Cii〇-1(西-C下〇-1)から出土した。現在整理中であるため詳しい年代はわからないが、一七世紀中頃から一八世紀中頃と考えられる。

8 木簡の釈文・内容

木簡の上端は左右を切り落とし、下端を細く削っている。墨書は確認できるが、表面の傷みがひどいため不鮮明である。図面は赤外線カメラによる画像をトレースしたものである。中央に「村」の字があることから地名が書かれていたと思われ、「甚□」は人名の可能性がある。荷札と考えられよう。

(小倉徹也・鳥居信子)

